BUTTERFLY TaskFlow

WHITE PAPER · 組織内の業務管理

業務トラッキングからの統制された移行。

組織内の業務管理とプロセスの近代化：人とAIエージェントが同じワークフローで、自社のデータ、自社のルール、自社のインフラで働きます。

89	32,130	34,112	8/8
プロジェクトを同日に移行	件の作業項目	件の作業時間記録	件の測定値がソースシステムと完全一致

エグゼクティブサマリー

業務トラッキングは変わりつつあります。統制は組織内に残すべきです。

企業の業務管理は長年、チーム、タスクリスト、手作業の承認を中心に構築されてきました。現在では業務の一部をAIエージェントも担っていますが、多くの組織でタスク、リクエスト、承認、ナレッジは依然として別々のツールに分散しています。

Butterfly TaskFlowは、プロジェクト・タスク管理、サービスカタログ、ワークフロー、承認、SLA、AIを活用した運用を一つのシステムで実行します。人とAIエージェントが同じプロセスの一部となり、すべてが同じ権限と監査のルールのもとで動きます。

本書では、既存の業務トラッキングツールからTaskFlowへの統制された移行をどのように進めるかを説明します。何を移行し、何を再構築するか、連携をどう維持するか、そして移行をどのように測定して完了させるかを扱います。内容は、RG Labsが自社の業務トラッキングシステムを1日でTaskFlowへ移行した実例に基づいています。

本書の内容

- 業務管理が変わるべき理由
- TaskFlowの機能：サービスカタログとポータル、Workflow Studio、自然言語での問い合わせ、承認チェーン、SLA
- 自社移行の数値と8/8の検証結果
- 4ステップの移行手法、API互換性、事前に明記する制約
- 規制対象の組織向けのオンプレミス・閉域網での導入、認証

成果

一つのシステム。一つの権限モデル。完全なトレーサビリティ。

現状

仕事は変わりました。業務管理も変わるべきです。

ツールも連携も増え、統制は減っています。

従来のITSMや業務管理ツールの分断された構造は、今日の業務のスピードに追いついていません。購買依頼は業務トラッキングツールで起票され、金額が上がると2段階目の承認が必要になり、ERPで発注が作成されるとリクエストのレコードの更新が求められます。年月とともに項目、ルール、アドオン、接続が積み重なっていきます。

ツールの切り替えが話題になると、二つの質問が出ます。**「レコードは移行できるのか？」**、そしてより重要な**「月曜の朝、この業務はどう進むのか？」**

なぜTaskFlowなのか

データ損失ゼロの迅速な移行

現在のツールにあるプロジェクト履歴、チケット、権限を中断なく移行できます。

ネイティブに統合されたAI

AIを外部のチャットツールとしてではなく、チケットを分類し、SLAリスクを予測し、承認を起動するプロセスのステップとして実行します。

隠れたライセンス費用をなくす

数多くのアドオンに依存せず、RPA、連携、承認チェーンをプラットフォーム自体の機能で利用できます。

企業に求められる柔軟性と完全な統制

多段階の承認チェーンや部門をまたぐ複雑なフローを、Workflow Studioで大量のコードを書かずに設計できます。

答え

TaskFlowは、人とAIのチームのための共通の作業基盤を構築します。プロジェクト・タスク管理、サービスカタログ、ワークフロー、承認、SLA、AIを活用した運用が同じシステムで動きます。

プラットフォーム

一つのプラットフォーム。エンドツーエンドの業務管理。

Butterfly TaskFlowはタスクを追跡するだけではありません。企業の業務を開始から完了まで、プロセス全体を単一の構造で管理します。



ボード。作業項目はステータス列に並び、カードには種別、キー、優先度、期限、担当者が表示されます。

サービスカタログとポータル

リクエストを電子メールではなく、定義済みのサービスを通じて構造化された作業に変換します。

Workflow Studio

ステータス、遷移、ルールを自社の業務の進め方に合わせて設計し、AIで素早く作成できます。

自然言語での問い合わせ

普段の言葉で質問すると、TaskFlowが貴社のデータをもとに回答します。

承認チェーン

多段階、並列、条件付きの承認を一つのフローで管理します。

権限委任とSLA

権限委任、追加承認者、勤務カレンダー、SLAルール。

日々の業務トラッキング

ボード、スプリント、保存済みフィルター、キャパシティ計画、ロードマップ、スプリント完了レポートの自動作成。

画面から

日々の業務トラッキングは同じ場所で続きます。

チームはスプリント、作業の履歴、残りの工数を同じシステムで追跡します。以下の画面は当社のTaskFlow環境から取得したものです。



スプリントボード。完了した項目、残りの工数と消化済み工数、目標との差、バーンダウンチャート。

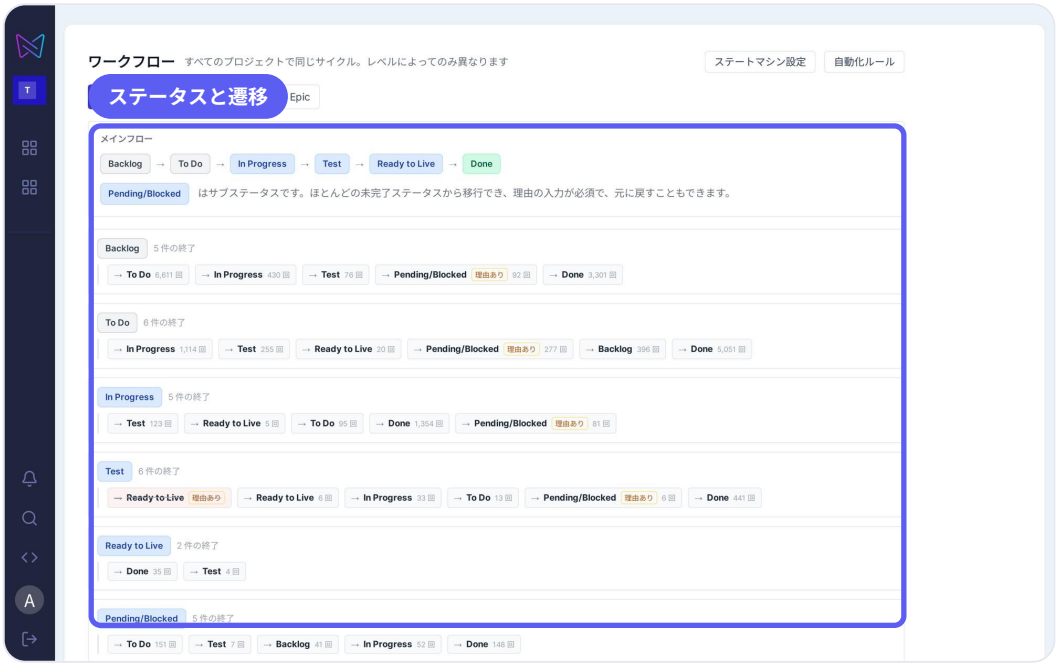


作業項目の詳細。説明、サブタスク、コメント、作業時間記録、添付ファイル、変更履歴。右側にステータス、担当者、工数の項目があります。

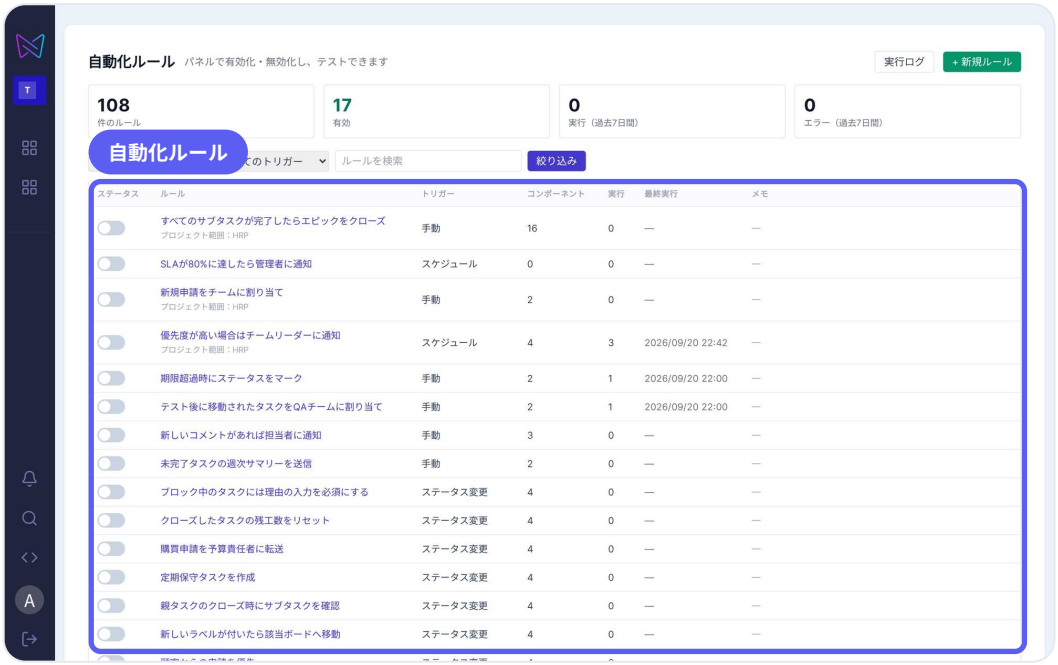
プロジェクト名、項目名、人名はサンプルデータに置き換えています。数値はシステムの実際の値です。

ルールはプロセスエンジンで動きます。

ステータスと遷移はプラットフォームのワークフローエンジンで定義されます。繰り返し発生する作業は自動化ルールに紐づけられ、すべての実行が記録されます。



ワークフロー。各ステータスから許可される遷移。保留にする作業では理由の入力が必須です。



自動化ルール。108件のルールを移行。トリガー、コンポーネント数、実行回数、最終実行を一つの表で確認できます。

企業の信頼

企業の業務管理には企業レベルの信頼が必要です。

TaskFlowは、導入、ワークフロー、AI、監査を単一のガバナンスモデルのもとに統合します。

導入

オンプレミス、プライベートクラウド、閉域網での導入。自社のインフラで稼働します。

承認とSLA

多段階の承認、並列・条件付きのフロー、権限委任と追加承認者、勤務カレンダーとSLA。

ワークフロー

Workflow Studio、ステートマシン、ステータスと遷移のルール、割り当て、優先度、ラベル。

AI

モデルに依存しない構造、自然言語での問い合わせ、タスクの要約、AIを活用したレポート作成。

連携

Butterfly iPaaS、統合されたワークフローとRPA、企業システムとの連携、コミュニケーションツールとの接続。

権限と監査

ロールベースのアクセス、監査証跡、人とAIのステップのトレーサビリティ。

既存の連携：同じAPI、新しいアドレス

TaskFlowは、一般的な業務トラッキングツールのREST APIと同じパスとパラメーターで動作するインターフェースを提供します。REST API v2およびv3、アジャイルのボードとスプリントのエンドポイント、サービスデスクのエンドポイントに対応しています。Webhookは署名付き（HMAC）で送信されます。認証は電子メールとAPIキー、または個人用アクセストークンで行います。対応するエンドポイントを使うスクリプトやレポートの接続は、多くの場合、アドレスとアクセスキーを変更するだけで引き続き動作します。

現場から

自社の移行では89のプロジェクトを1日で移行しました。

Butterflyを開発するRG Labsのチームは、業務トラッキングツール全体を同日にTaskFlowへ移行しました。それ以来、27名が毎日TaskFlowで業務を行っています。

89 プロジェクト	**32,130** 件の作業項目	**11,190** 件のコメント	**34,112** 件の作業時間記録
667,864 件の変更履歴レコード	**9,109** 件の添付ファイル	**133** スプリント	**119** 件の保存済みフィルター

移行は測定によって完了しました。

移行完了後、八つの測定値をソースシステムと並べて比較しました。八つすべてが完全に一致しました。

測定項目	ソースシステム	TASKFLOW
アクティブなスプリントの項目	**934**	**934**
サブタスク	**721**	**721**
未完了の作業	**428**	**428**
保留中の作業	**54**	**54**
工数の内訳（4項目の測定）	**完全一致**	**完全一致**

- チームがソースツールで実際に使っていた48の機能を一つずつ比較しました。43が対応済み、3が一部対応、2が対象外です。
- 移行は69項目のテストからなる品質管理レポートで完了しました。
- ワークフローはプラットフォームのプロセスエンジンで動きます。ステータス11、遷移46。保留にする作業では理由が必須で、工数を超過した場合は超過の理由が求められます。

移行手法

移行の前に、各部分をどう扱うかを決めてください。

1. **利用状況を棚卸しする**
   プロジェクト、項目、フィルター、自動化、アドオン、実際に使われているAPIエンドポイントを洗い出します。

2. **レコードと作業のやり方を移行する**
   移行対象に含めた作業項目、コメント、添付ファイル、変更履歴を移します。チームが使うボード、スプリント、フィルターは移行計画の中で別途扱います。

3. **連携を検証する**
   対応するAPIエンドポイントを使うスクリプトやレポートの接続は、アドレスとアクセスキーを更新すれば引き続き動作できます。Webhookと重要な連携は、移行前に貴社のシナリオでテストします。

4. **ワークフローをButterflyで管理する**
   承認ステップ、保留理由、完了ルールをプロセスエンジンで定義します。スプリント完了レポートで、どの理由が多く繰り返されているかがわかります。

制約は事前に明記します

- マーケットプレイスのアドオンはそのままは移行されません。実際に使われている機能を洗い出し、必要なものをButterfly上で再構築します。
- アプリ内のOAuth 2.0（3LO）接続には対応していません。認証はAPIキーまたは個人用アクセストークンで行います。
- どの機能がそのまま移行され、どれを再構築し、どれが対象外になるかは、移行前に書面で一覧にします。

移行期間は、レコードの量、ワークフロー、既存の連携によって決まります。初回の評価でこの三つを合わせて洗い出します。

規制対象の組織

自社のデータで。自社のルールで。自社のインフラで。

公共機関とその関連組織、銀行・保険、防衛産業、製造などの分野では、作業記録を組織内に保持することは多くの場合、選択ではなく義務です。

オンプレミス導入

TaskFlowは組織自身のサーバーで稼働し、データの保管場所は組織が決定します。

プライベートクラウド

組織専用のクラウド環境で、同じ権限と監査のモデルを適用します。

閉域網

インターネットから遮断された環境でも稼働できる導入オプション。

プロセスと同じプラットフォーム

業務トラッキングは、調達、保守、承認のプロセスと同じButterflyプラットフォームで動きます。

認証

認証	範囲
ISO/IEC 27001:2022	情報セキュリティマネジメントシステム
ISO 9001:2015	品質マネジメントシステム
国産品証明書（Yerli Malı Belgesi）	業務プロセス管理ソフトウェア（Butterfly）、国産比率100%、Aクラス、ハイテクノロジー
技術製品証明書	Butterfly DXP、トルコ共和国産業技術省

すべての認証と検証リンク：butterfly.dev/ja/kurumsal/sertifikalar

よくある質問

TaskFlowについての簡潔な回答。

既存の連携は引き続き動作しますか？

対応するエンドポイントを使う連携では、アドレスとアクセスキーの変更で足りる場合があります。APIのバージョン、認証、Webhookの利用状況は、棚卸しの結果をもとに一つずつ検証します。

どのレコードが移行されますか？

プロジェクト、作業項目、コメント、添付ファイル、作業時間記録、スプリント、ボード、変更履歴を移行対象に含めることができます。自社の移行では、89のプロジェクトと32,130件の作業項目を同日に移行しました。

使用中のアドオンはどうなりますか？

マーケットプレイスのアドオンは直接は移行されません。実際に使われているアドオンの機能を洗い出し、必要なものはButterfly上での再構築の対象として検討します。

オンプレミスで導入できますか？

オンプレミス、プライベートクラウド、インターネットから遮断された環境の選択肢があります。導入モデルは、貴社の連携とインフラ要件と合わせて検討します。

移行にはどのくらいかかりますか？

期間はレコードの量、ワークフロー、既存の連携によって決まります。初回の評価で、どの部分を移行し、どれを再構築し、どれを対象外とするかを決定します。

POCで一緒に構築できます

- 貴社独自のサービスカタログとリクエストの種類
- 貴社独自の承認フローとSLAルール
- 実際のリクエストで動くAIを活用したワークフロー
- ワークフローと旧ツールからの中断のない移行

移行計画は最も重要なワークフローから始めましょう。

購買、保守、承認のいずれかのプロセスを一緒に確認しましょう。どのレコードを移行し、どの接続をテストし、どのルールをButterflyで再構築するかを決めましょう。

移行範囲を評価しましょう · butterfly.dev